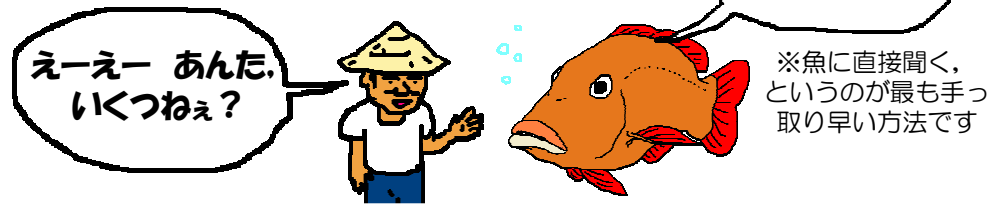
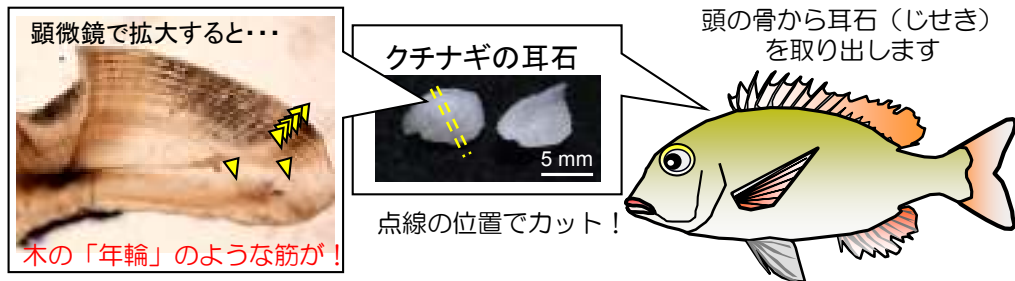


沖縄県水産海洋研究センター石垣支所では、八重山漁協で定期的に魚の標本を購入していますが、購入した標本からどんなことを調べているのでしょうか？  
今回は、その一部として、**魚の年齢と成長**について紹介します。

### どうやって年齢を調べるか？



魚の年齢を調べるには、古くから様々な方法が試されてきました。例えば、鱗、脊椎骨そして耳石(じせき)という石のようなものです。これらには、その魚が何年生きてきたかが記録されており、それを読み取ることで年齢が分かるのです。では、一体どうやってそれを読み取るのでしょうか？



市場で買って来た標本は、まず体長(口先からしっぽの切れ込みまでの長さ)と体重を測ります。その後、解剖して卵巣、精巣や肝臓、胃袋などを調べ、頭から「**耳石**」と呼ばれる小さな石を取り出します。これを厚さ0.3 mm程度に薄く切って顕微鏡で観察すると、木の年輪のような細かい筋が見られます。この筋が、ちゃんと1年に1本作られることを確認してから、年齢を知る手段として用いるのです。この写真では、筋が8本観察できますので、8歳ということになります。



### 代表的な魚の年齢と大きさ

沖縄で漁獲されている代表的な魚については、これまで様々な研究がされてきました。年齢と成長(何年で何cmくらいに成長するか)について明らかにされている種類をいくつか紹介します。

アカジン(スジアラ)



満1歳で約 23 cm

満2歳で約 32 cm

満10歳で約57 cm  
最大20歳, 60 cm程度

マクブ(シロクラバラ)



満1歳で約 22 cm

満2歳で約 32cm

満5歳で約 52 cm  
最大15歳, 70 cm程度

タマン(ハマフエフキ)



満1歳で約 22 cm

満2歳で約 32 cm

満10歳で約 56 cm  
最大26歳, 65 cm程度

タコクー(ナミハタ)



満1歳で約 13 cm

満4歳で約 22 cm

満10歳で約 30 cm  
最大20歳, 40 cm程度

クチナギ(イソフエフキ)



満1歳で約 18 cm

満3歳で約 21 cm

満20歳で約 30 cm  
最大23歳, 40 cm程度

※注:体長は口先から尾の切れ込みまでの長さで示しています

同じミーバイ類でも、アカジンとタコクーでは成長スピードがずいぶん違います！

### 最近わかってきたこと

水産海洋研究センター石垣支所では、2011年からクチナギの年齢と成長について調査しました。その結果、クチナギは約20年前と比べて、成長が悪くなってきていることが分かってきました。高齢になっても、以前ほど大きくなならない個体が多くなってきたのです。環境の変化や、魚を獲りすぎたことが原因と考えられますが、詳細については現在調査中です。

5歳 : 26 cm

10歳 : 30 cm

15歳 : 31 cm

1990年代



小型化!

2010年代



5歳 : 24 cm

10歳 : 27cm

15歳 : 29 cm